

広 報

とままえ

発行／北海道苫前町
編集／企画振興課広報広聴係



風かおる
人が輝き
躍動するまち

No.518
2004

10



まちの人口

人口／4,259人
男／2,031人
女／2,228人
世帯数／1,781世帯
(8月31日現在)

収穫の秋！

字旭・石川頼徳さんのジャガイモ畑では
高齢者事業団会員がジャガイモ拾いに汗を流す。
台風18号の影響で町内の農作物にも
大きな被害がもたらされたが
このジャガイモ畑では
無事に収穫を迎えた。



標語 気をつけよう 知らない人について行かない

古丹別保育所 6才 なかむら けんたくん

台風18号の猛威 被害総額9億4千万円



高波により一部決壊した国道232号線新場の沢付近

九月八日北海道日本海側を通過した台風十八号は、風速四十メートルを超える猛威により海岸部を中心に家屋、道路、漁業施設や農作物などに甚大な被害をもたらした。

台風は八日午前十一時頃、苫前町沿岸を通過。風速四十メートルを超える猛烈な風が、次々と木々をなぎ倒し、車庫を吹き飛ばし、屋根をめくりはがすなど、苫前町を飲み込んでいった。

特に海岸部では、これまでに類を見ない高潮・高波による床下浸水や道路の決壊などの被害が発生し、高潮や家屋の一部損

壊による自主的避難者は、二十三世帯四十一名に及んだ。漁港施設では、作業所が高潮に飲み込まれ、小さな船が流され、漁網やホタテ養殖施設にも大きな被害をもたらした。

また道路では、上平新場の沢付近の国道二二三号線と三豊梁泊地区に向かう町道が、一部決壊し、通行止めとなるなど交通機関も麻痺状態となり、強風による電線の切断で、停電が続く。電話も通じず、住民は不安な一夜を過ごした。

また、農業においても、収穫間近の水稲の稲穂が強風で削ぎ

落とされ、農作物への塩害による被害、ビニールハウスの倒壊など被害は拡大し、農業関係者に大きなダメージとなった。

一方、役場では八日午後零時十分にいち早く災害対策本部（森利男町長本部長）を設置し、災害状況の把握に努めるとともに、強風のなか町内幹線道路の復旧や避難住民への対応に追われた。また、この災害により発生した倒壊家屋の木材やトタンなど被災ゴミを旧旭ゴミ捨て場に一時保管を決め、九月十一、十二、二十五、二十六日に被災者の自主運搬のもと被災ゴミを受け入れた。なお、このゴミは分別後、羽幌町にあるゴミ処理場へ搬送される。

この台風において苫前町立風力発電施設「風来望」では、八日午後一時に最大瞬間風速四十五メートルを観測したほか、上平ウインドファームでは五十二メートルを観測した。

被害にあわれた皆様には深くお見舞い申し上げます。

九月二十九日現在での被害の状況は次のとおりです。

人的被害 軽傷六名
住宅被害 一部損壊七十五棟
床下浸水四棟 計八十一世帯
被害額 二四、九九三千元
非住宅被害 全壊三十八棟
半壊四十二棟 計八十棟
被害額 一五〇、六〇〇千元
農業被害 (農作物) 田千百三十八畝 畑三百二十六畝

共同利用施設 十二件 営農施設(ビニールハウス等) 五百九十二件 その他二十四件
被害額 五三八、九四四千元
土木被害 町道 二か所
被害額 一五一、七一〇千元
水産被害 漁船沈没流出等三隻 共同利用施設六棟 その他施設二十五か所 漁具十七件 水産製品一件
被害額 五〇、二〇〇千元
林業施設 町有林二・七三畝 一般民有林六・二六畝

被害額 五、〇三九千元
商工被害 商工業二十二件
被害額 一二、二五〇千元
学校・社会教育施設被害 小中学校二件 社会教育施設十二件
被害額 六、八四〇千元

また、この台風被害に対し、友好町三重県長島町の有志の皆様から、九月十七日町へ義援金が届けられた。
心より感謝申し上げます。

フォーカストダーラムチャーマー(丹羽牧場産)

北海道ホルスタイン共進会で三位



入選の喜びに沸く丹羽秀樹さん(オーナー=左)中嶋あゆ美さん(リードマン=中央)中嶋卓広さん(フィッター=右)

位)に入選を果たした。苫前町の牛が上位三頭に入選するのは四年ぶり。

審査におけるリードマン(牛を引く人)を勤めたのは、同じ酪農業を営む中嶋隆司さん(字岩見)の次女あゆ美さん(15才)。しっかりとたずなを引き終え「牛が思うように動いてくれず大変だった。」と緊張した様子。

九月十日から十二日勇払郡早来町で開催された北海道ホルスタインショナルショウにおいて、苫前町から出陣した丹羽秀樹さん(字岩見「酪農業」)の牛(フォーカスト ダーラム チャーマー)が第一部(生後八か月以上十か月未満)四十四頭出陣)において、一等三席(第三

これまでの労苦が報われた様子。この入選は、苫前町の酪農関係者にとって、大きな励みとなった。

苫前町敬老会

歌謡ショーに酔いしれる

九月一日町公民館において苫前町敬老会が開催され、町内七十五才以上の高齢者百八十一名が参加。古丹別保育所幼児の舞踊姿や町内女性団体のアトラクシヨン、歌謡ショーを楽しみ長寿を祝った。

今年のライオンズクラブ提供による歌謡ショーは、道内を中心に活躍する山本裕美子さん、「花笠音頭」や「河内おとこ節」などの民謡や演歌を主に十三曲を披露。はりのある歌声に、高齢者は酔いしれていた。また、



山本裕美子歌謡ショーで高齢者もうっとり

恒例の古丹別保育所幼児及び苫前古丹別両婦人会のアトラクシヨンでは、嗜好をこらした舞踊やダンスが披露され、大きな拍手が鳴り響きみんな大喜び。また、森町長からは「今日の苫前町があるのは、みなさんのおかげ。これからも元気で番付上位を目標に長生きしてください。」と高齢者に声をかけた。

このほかの町内における敬老会は、十一日苫前保育園、十八日古丹別保育所、十九日苫前幸寿園でそれぞれ行われ、長寿を祝った。



古丹別保育所幼児も元気よく踊りを披露

佐々木ナツさん(百歳)に

総理大臣から記念品

九月十五日満百歳を迎えた佐々木ナツさん(字力昼)の誕生日に、小泉純一郎総理大臣並びに高橋はるみ北海道知事からの百歳を祝う賞状及び記念品が、留萌保険福祉事務所の星野厚社会福祉課長から手渡された。

佐々木さんは、明治三十七年力昼で生まれ、お子さんは九人。現在は、次男の保さんと同居。身体は健康で、昔は鬼鹿まで歩いて買い物に出かけたとのこと。今でも、縫い物で手を動かしている。思わぬプレゼントに佐々木さんは、喜びの表情を浮かべた。



お詫び

広報九月月号長者番付において、東張横綱の中川俊夫さんのお名前が中山と誤り、また、文芸俳句作品者林千代美さんと桑風さんの名前が入れ替わっております。深く、お詫び申し上げます。

「文芸」

苫前町文芸を語る会

(短歌)

庭屋をパズルとくかに解体す乾きし音は暑さをゆるする
古丹別 大矢根亮子

サルビアの花の朱の彩極まりて小さき庭の夏も老いたり
栄 浜 横内 弘子

野菜もの買うははるかに安けれど喜びくるる人あり梁しい
古丹別 木幡とく子

戯れに夫と盛りたる砂山の頂点今だ定まらずして
古丹別 住吉 美恵

張り合って鳴くキリギリス声帯と淑女のやうに保つこの身に
(俳句)

ゆれ動く コスモス手折る 太き指
古丹別 林 千代美

空高く ひょうたん少し 風にゆれ
古丹別 桑 風

川柳

(文責・大矢根)

テーブルを 囲む幸せ 三世代
古丹別 運上 吉雄

少年の 日ととび廻る 赤トンボ
古丹別 今新きみ子

払い腰 見事一本 金メダル
古丹別 斎数 範章

弱音など 吐かぬ女房の 尻の幅
古丹別 関 武

南無阿弥陀仏 唱えて邪気と 払う齡
(文責・鎌田)

古丹別 鎌田 信夫



三毛別開拓者魂を偲ぶ

～感想記帳拾い読み～その四～

吉村昭の「熊嵐」を読んで来ました。開拓の労苦と先人の努力がわかりました。(15.8.10神奈川県男性) 凄い所で、ビックリしました。ここなら熊が出るのもわかります。ぼくの身体で、熊の半分もありません。普通の熊にしては大きいです。

(15.8.14札幌市男性)

家族4人で来ました。主人が三溪生まれで、話には聞いていましたが現地を見るのは初めてです。すごく怖いです。

(15.8.14札幌市女性)

おばあちゃんを連れて2回目見に来ました。とても怖くて、友人もビックリしていました。

(15.8.15札幌市女性)

私の祖父がここに住んでいました。初めて顔を思い出しています。

(15.8.17石川県女性)

苫前町イメージアップ苫前推進協議会



三溪復元住居前でくま獅子を奉納する子どもたち

大正四年の獣害史上最大といわれる三毛別開拓事件が今年で九十回忌を迎え、町イメージアップ推進協議会(会長宮本信雄)では、同事件復元現地(字三溪)において町無形文化財であるくま獅子舞を奉納した。
追悼法要には、森利男町長をはじめ星野恭司町議会議長や土現羽幌出張所、森林管理署古丹別事務所などの関係機関及び教育関係者ら六十名が参列。

三毛別開拓事件九十回忌追悼法要 苫前町くま獅子舞を奉納

追悼法要は、午前十時三十分現地復元住居前でのくま獅子舞奉納が始まり、慰霊碑前において読経に併せて焼香が行われ、犠牲者のめい福を祈るとともに、不屈の開拓精神と偉業を偲んだ。
復元現地において、くま獅子舞を奉納するのは今回が初めて。主催した宮本会長は「私たちが恵まれた生活を過ごせるのも、先人の労苦があったからこそ。この惨事を忘れることなく、後世に伝えて生きたい。」とあいさつ。あらためて、尊い命の犠牲のうえに開拓があったことを噛みしめていた。



国際交流参加者(苫商生)から森町長へアメリカのお土産が手渡された

苫商生国際交流で アメリカホームステイ(帰国報告)

苫前商業高校(眞屋右男校長)では、英語圏での語学能力向上と国際人としての基礎を養うことを目的に、七月二十五日から二十日間米国・ロサンゼルスへ女子生徒三名を派遣。九月六日森町長へ帰国報告が行われた。
この事業に参加したのは、尾崎美夏さん、堀彩華さん、棟方彩香さん(同校三年生)。尾崎さんは、すでにサンフランシスコでのホームステイ経験があり、今回が三度目。堀さんと棟方さんは、米国は今回が初めて。研修は、ホストファミリー宅に宿泊しながら、英会話レッスン

や地域施設を見学。デイズニーランドやメジャーリーグ観戦なども盛り込まれ、米国文化を楽しんだ。
参加した三名は、「最初は英語を聞き取ることができず、電子辞書を片手に、何とか会話ができた。食事はピザやハンバーガーが美味しくて、不自由は感じなかった。」と生活での順応性を発揮。文化の違いでは「米国人は、自分の意志をはっきりと示し、人の良いところはすぐにほめて、個々の能力をのばす環境があります。もっと英語力をつけて、また行きたいです。」と報告。その言葉には、更なる夢と希望に満ちていた。



第31回高齢者スポーツ大会 いきいきハッスルプレー

9月18日苫前中学校体育館において町社会福祉協議会主催による高齢者スポーツ大会が開催され、高齢者137名が参加し、スポーツの秋を満喫した。

競技は、参加者を地域別の4チームに分け、風船わりやボウリング、綱引きなどで和気あいあいと交流を図るなか、各競技の得点を競い合った。

大会は、黄色チーム(苫前・力屋・栄浜・港地区=代表打田勝宣)が優勝を飾った。

白老町 能登康昭氏 彫像（裸婦像）を寄贈

苦前出身



9月21日白老町在住の彫刻家能登康昭氏（55才）から高さ1.8mにも及び等身大の裸婦像が寄贈された。タイトルは「レラ」。アイヌ語で風を意味し、苦前の風と風車をイメージして製作された。

能登さんは、昭和23年10月に苦前で生まれ、羽幌高校を卒業後、昭和45年白老町の旭化成に入社。趣味で彫刻を始め、平成11年から4年連続二科展で入選している。

この彫像は役場ロビーで展示されている。



交通安全キャンペーン
旗の波作戦！
街頭啓発

九月二十一日役場前で町及び町交通安全推進協議会、羽幌警察署などが協力し、秋の交通安全運動に併せ、「旗の波作戦」が実施された。

本町では、五月に宇興津の国道で死亡事故が発生し、全道的にも昨年実績を上回る状況となっている。この日は町内関係者六十名が集まり、安全旗を片手にスピードダウンを呼びかけた。

また、力登小学校児童四名は、二十八日力登（天谷の沢付近）駐車帯において、安全運転を呼びかける手紙と学校菜園で収穫したジャガイモをドライバーに手渡した。心温まる呼びかけにドライバーたちは、笑顔で応え安全運転を心がけていた。

九月一日古丹別リバーサイドパークゴルフ場において、第七回苦前町農協婦人防火クラブ（会長鴨田幸子）親睦パークゴルフ大会が開催され、会員相互の親睦を図った。

当日は台風16号の通過により開催が危ぶまれたが、風はあるものの晴天に恵まれ、会員三十名と消防団員、消防職員が参加。競技は、十一グループに別れ、南北両コースで行われた。

プレーを楽しむ会員たちから、常に笑い声が聞かれ、和やかなムードで親睦が図られた。

ルールでは同スコアの場合、年齢順で順位を決めていた。



農協婦人防火クラブ
パークゴルフで親睦

ファイヤー通信 『秋の全道火災予防運動実施』

この運動は、暖房機器の使用等により火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、道民の火災予防思想の高揚を図り、火災の発生を防止し、死傷事故や財産の損失を防ぐことを目的としています。



実施期間 10月15日金から10月31日日まで

統一標語 『火は消した？ いつも心にきいてみて』

運動期間中の重点目標

- (1) 住宅防火対策の推進
- (2) 防火火災予防対策の推進
- (3) 消火器事故防止対策の推進

防火査察の実施期日及び対象物

- (1) 10月15日金から10月31日日まで
- (2) 一般家庭、指定対象物



火事・救急は119番！

北留萌消防組合消防署苦前支署	4-2321
古丹別支署	5-4119

さわやかな秋空とともに マラソンで心地よい汗



九月十二日苫前商業高等学校グラウンドを会場に第二十七回町民マラソン大会が行われ、町内小中学生や親子など二百一名が参加し、秋晴れの中、スポーツ

の秋を満喫した。親子の部においては、幼児と親が1*コースをゆっくりとジョギングを楽しみ、中には一歳児が親とともに休みながらゴールを目指す姿に、「ガンバって!」のかけ声と大きな拍手が沸き上がった。

部門別競技では小学三年男子の部(2*区)において伊藤翔貴くん(古小)が八分五十一秒と大会記録を十一秒縮め、中学生女子の部(2*区)においても太田祥実(古中二年)さんが、十二分三十七秒とこれまでの記録を七秒縮める新記録が生まれた。また、マラソン終了後参加者は、全員で玉入れや大玉転がしを楽しみ、スポーツの秋を思う存分楽しんでいった。

大会結果は、次のとおり。
(一位のみ)

- 1*コース
小学一年男子 福田怜也(5分18秒) 小学一年女子 田口紗衣(5分43秒) 小学二年男子 五十嵐海渡(4分44秒) 小学二年女子 田口萌乃(5分21秒) 親子の部 前川たかのぶ・彰(5分48秒)
2*コース
小学三年男子 伊藤翔貴(8分51秒) 小学三年女子 佐藤彩香(11分8秒) 小学四年男子 西

- 村涼太(9分15秒) 小学四年女子 行町明夏(9分11秒) 小学五年女子 奥山咲希(9分39秒) 小学六年女子 能登智穂佳(9分14秒)
3*コース
小学五年男子 山本将悟(13分50秒) 小学六年男子 逢坂拓人(12分25秒) 中学女子 太田祥実(12分37秒) 一般女子 芳賀晶子(14分30秒)
5*コース
中学男子 鈴木文弥(20分56秒) 一般男子 服部泰徳(21分42秒)

カンガルースクール サツマイモ掘り体験



収穫を終え、みんなで記念撮影

九月二十三日幼児を対象としたカンガルースクールで「サツマイモ掘り」体験が行われた。この日は、春を思わせる陽気の中、親子十九組四十五名が参加。毎年、畑の提供をしていただいている古丹別の池田功さん(74才)から、「サツマイモ」の掘り方が説明され、芋掘り開始。子どもたちは、小さな手で芋のつるを寄せ、土を掘り返し、サツマイモを見つけ大喜び。一日で六十*ものサツマイモを掘り起こしていた。収穫終了後は、公民館へ移動し、芋洗いを実践。蒸かしたサツマイモを食べる親子たちは、「甘みがあつて、とてもおいしいです。」と満足していた。

男女平等参画セミナー 「メディアが作るオンナ・オトコ」

九月十二日町公民館で男女平等参画セミナーが開催され、参加者三十名は、メディアがつくる女性像について学習した。講師には藤女子大学教授の伊藤明美さんが招かれ、雑誌やテレビでの女性像は、かわいらしさと伝統的役割が強調され、弱く従順な印象を与えるものが多い。特に成



人男性向け雑誌では、性的対象として扱われ、子どもがその環境で育つと、そういう女性像の概念が無意識のうちに出来上がってしまう。」と現代社会のメディアの問題点を挙げた。そして「メディアを読み取る力を養うことが大切。」と情報には批判的な視点で、複眼的な目の肥えたメディア利用者となってほしいと呼びかけた。参加者は、これまで何となく見て聞いていたことが、いろいろな問題点を持つていたことを再認識していた。

古中環境学習班 下水処理場を見学



九月二日古丹別中学校(吉岡範雄校長)環境学習班八名が、来春オープン予定の「とままえ下水浄化センター」を見学。下水処理の意義や処理システムについて説明を受け、十月の文化祭において報告される。この浄化センターの処理方法は、「嫌気・好気床法」を採用し、浄化に伴う廃棄物をほとんど出さないシステムで、ランニングコストは極めて低い。留管管内では初めての導入で生徒たちは、「生活排水に、ゴミや油、シンナーなどの汚染物は流さないことが、僕たちができること。」と感想を語っていた。

公民館フェスティバル

今年も公民館を会場に様々な催しが行なわれます。みなさまお誘いあわせのうえお越しください。

日時 展示部門 10月29日(金)～31日(日) 午前9時～午後8時
町民文化祭展示部門 子供向け優良映画上映会
文化サークル体験コーナー 人形劇団の公演など
舞台部門 11月6日(土) 午後7時開演
団体やサークル、グループの舞台発表

場所 苫前町公民館



図書館フェスティバル

本のおもしろさをたくさんの人に知っていただけるように、楽しく本に触れられるイベントを開催します。子どもから大人までどなたでも楽しめるものですので、ぜひお越しください。

日時 10月29日(金)～31日(日) 午前10時～午後5時
場所 苫前町公民館図書室
本の展示 本のリサイクル市 大型絵本の読み聞かせ
本を使ってやってみよう「ダッチオープン料理」
道立移動図書館あけぼの号からの本の貸出しなど

場所 苫前町公民館



室内ミニサッカー大会

今年も室内ミニサッカー大会を行います。
友達同士でチームを組んで出場しませんか。
応援参加も大歓迎です。

日時 10月30日(土) 午前9時～
場所 苫前町スポーツセンター
対象 小学生の部(4年生以上)
中学生の部
チーム 5人で1チーム
登録は7人まで
女子の得点は2点
参加料 1人500円
申込み 10月20日(水)までに、
参加料を添えて申し込んで下さい。



海洋センターが閉館しました

苫前町B&G海洋センター(温水プール)は、9月末をもって今年の開設を終了いたしました。今年は、延べ8,400人の方に利用していただきました。
来年の開設は、5月1日を予定しておりますので
よろしくお祈りいたします。

～あなたの生涯学習、応援します～
お問い合わせ・ご相談は...

苫前町公民館

でんわ 5 - 4076
E-mail : tph@jasmine.ocn.ne.jp
HPアドレス : <http://www1.ocn.ne.jp/tomamae/>

行政相談週間

10月20日～26日

温かい心でお聞きします。
いま、あなたは役所の仕事について、お困りのこと、納得のいかないこと、希望することなどありませんか。
例えば：
交差点に水がたまり、車が通るたびに飛散し、歩行者が迷惑を受けている。
交通信号機がなく、危険である許可申請したが、なかなか許可されない。
行政相談は、このような皆さんからの苦情、要望などを総務庁長官から委嘱を受けた相談員がお聞きし、解決を図ります。
この期間の中で、苫前町担当の宇草哲夫行政相談員が次により行政相談所を開設しますので、お気軽にご利用ください。

行政相談所開設

10月20日(水)

苫前地区福祉センター
午前10時から午前11時30分
古丹別地区 町公民館
午後1時30分から午後3時

スポーツセンターで自由遊び



九月一日一才児から三才児を対象に「のびのびサークル」がスポーツセンターで行われ、子どもたちが、プレイルームの遊具で元気に遊ぶなか、お母さんは乳幼児医療制度などの育児情報の交換を通して、交流を図った。

この事業は、家に閉じこもりになりがちな育児の中で、子どもや母親の交流を図るもので、十一月二日には「ピリピリ新聞遊び」を予定している。色々な遊びを通し、子どもの成長が見られ、情報交流の場として、公民館では参加を呼びかけている。

きらりコンポスト無料配布

(生ゴミ堆肥)

10月23日(土)決定

午前 9時00分 苫 前 (役場車庫前)
午前10時30分 古丹別 (旧古丹別支所前)



配布総数量 1,200袋 (1袋5キ口詰め)
配布方法 1人につき3袋まで
両地区ともに先着600袋まで

指定された場所に取りにこられた方だけに配布。
(電話予約は、受け付けません。)

配布時間 上記時間から1時間程度
詳しくは町民課けんこう係へお問い合わせください。

健康ばざい

「食生活改善協議会の活動」

今月の担当は鍵山栄養士です。

『食生活改善協議会』の活動は「生涯に通じる健康づくり」をテーマにし、地域の人々のニーズに応え、正しい食生活の普及・定着を目指し、自主的なボランティア活動に取り組んでいます。



「ガレットの会」の三グループが生まれ、食材を活かした調理法を研究しながら、現在も自主的活動を行っています。

また、町が主催する教室にもご協力いただいています。

妊産婦教室(ラッコクラブ)

若いお母さん方への離乳食の調理実習を行い、下準備や調理をしながら、お母さんたちに色々な体験談やお話しをしていきます。

骨々ヘルシー教室

カルシウムの豊富なメニューで調理実習を行い、その補助者として協力いただき、参加者にアドバースしながら、調理を行っています。



親子料理教室

(カンガルースクール)

今年度は、幼児を対象とした簡単な「おやつ作り」を行います。昨年参加した子どもたちには、大変喜んでもらいました。

また、年に一度、他市町村との「食生活改善協議会」との交流会も行っており、今年度は苫前町が開催地となっています。

苫前町食生活改善協議会では、教室や研修会を盛んに行い、自己学習を深めながら、地域の人々の食への興味・関心を引き出し、何よりも楽しみながら活動を進めていきたいと思っています。

今後予定されている教室については回覧にて周知いたします。たくさんの方が参加していただけることを楽しみにしています。詳しくは、町民課けんこう係までお問い合わせください。

みんなで築く

すこやかライフ

豊かな老後

国民健康保険・老人保健ガイド

人間ドックの受診料を助成します

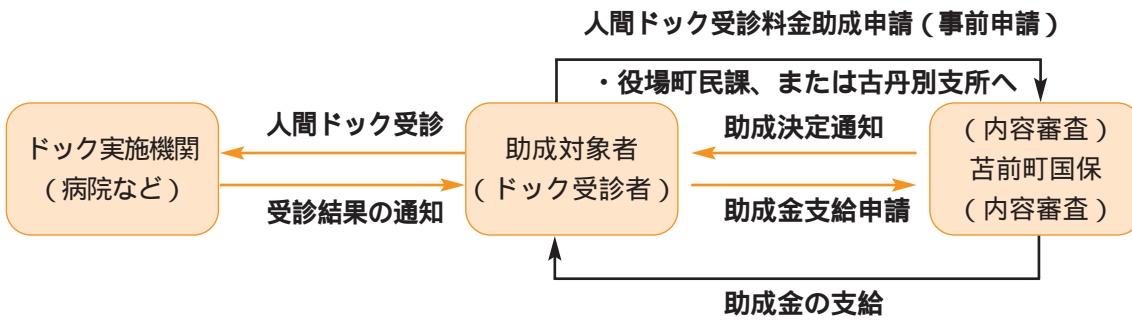
苦前町国保では、平成十六年度の保健事業の一環として、国保加入者の人間ドック受診を促進し、健康の保持・疾病の早期発見と重症化防止による医療費の抑制を図るため、苦前町国保加入者が人間ドックを受診した際に支払う受診料の一部助成を次のとおり実施しています。
受診を予定されている方は、内容など確認のうえ申込みされますようお願いいたします。

助成の対象となる方は
人間ドックを受診する時点で苦前町国民健康保険に加入している方で、次の条件を満たす方
受診時の年齢が満四歳以上の方
前年度分までの保険税を滞納していない世帯に属する方

助成の額
一件につき二万円を上限に助成します。



助成の方法
次の図のとおり助成します。



不明な点などについては、町民課しあわせ係（TEL 4-2215、内線271）までお問い合わせください。

介護保険・福祉Q&A

介護保険で利用できるサービス（福祉用具購入）

福祉用具は、日常生活をおくるうえで、大変重要な道具であるとともに、利用の有無はもちろんのこと、使い勝手や装着感等の違いによって、生活の質や満足度が様変わりします。

「介護保険の福祉用具を利用したい。」とお考えの方は、まずケアマネジャーに相談してから、選ぶようにすると良いでしょう。

代表的な福祉用具のチェックポイントについては、次の事項があげられます。

杖

ひじを曲げ、腕を地面と平行にしてから、30度下げたところに、杖のグリップがくるくらいがちょうどよい高さです。

ポータブルトイレ

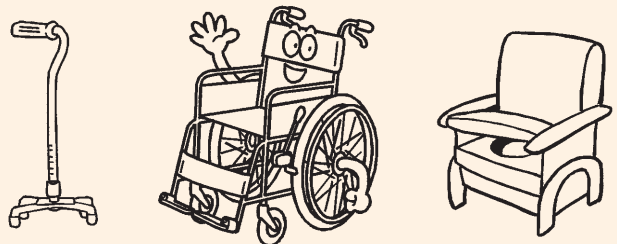
ベッドからの移乗がしやすいものを選びます。

車いす

きちんと座れているか、無理なく乗り降りできるかなどをよく見て選びます。

Q 福祉用具を購入した時点で保険給付を受けることができますか？

A 福祉用具を購入した場合の費用は、保険で給付される分も含めていったん全額を自分で支払います。その後、必要な書類を添えて申請すると、保険給付分（9割）が後から指定した金融機関の口座に振り込まれる仕組みになっています。



お問い合わせ先 苦前町役場町民課しあわせ係
TEL 01646-4-2215（内線273）まで

マイプランをしつかり

国民年金



年金の請求について

(老齢基礎年金の場合)

老齢基礎年金は、保険料を納付した期間や免除された期間を合せて二十五年以上ある方が、六十五歳になったときに受け取ることが出来ます。

ただし、待っているだけでは年金を受給できません。年金を受け取るためには、手続が必要になります。これを「裁定請求」といいます。

裁定請求は、六十五歳以降なら、いつでも行うことが出来ますが、手続きは役場若しくは、社会保険事務所で行なうことになります。裁定請求書には、必要な事項を記入し、関係書類を添えて提出することとなります。

老後の安心 国民年金！



請求に必要な書類は、年金手帳又は被保険者証
請求者の戸籍抄本又は、生年月日についての市町村長の証明書
請求時に、生計を維持している配偶者がいる場合には、配偶者の戸籍抄本又は身分関係を明らかにすることが出来る市町村長の証明書
、 については、同じ戸籍にそれぞれが記載されている場合には戸籍謄本1通で足りる
請求者の住民票(世帯全員) 請求者や配偶者が、すでに年金を受けているときは、その年金証書等の写し
その他、印鑑と口座振込を希望する場合は、通帳を持参してください。
支給額
二十歳から六十歳になるまでの四十年間保険料を納めた場合、老齢基礎年金の支給額は、七十九万四千五百円が支給されます。保険料納付期間が四十年に満

たない場合は、その不足する期間に応じて減額されます。

ただし、国民年金制度の発足時(昭和三十六年四月一日)に二十歳以上の方(昭和十六年四月一日生まれ以前の方)は、六十歳になるまでの間に、四十年の加入期間を満たすことができません。

このため、昭和三十六年四月一日以降六十歳になるまで、すべての期間で保険料が納付されている場合は、満額の七十九万四千五百円が支給されます。(加入可能年数は、受給者の生年月日に応じて二十五年から四十年までとなっています。)

なお、他の年金制度に加入していた場合は、裁定請求の手続きや請求先が変わってきますので、まずは、役場町民課住民係までお問い合わせください。

10月

町税の納期

今月は、町道民税
国民健康保険税
介護保険料
の納入月です。

納期内納入にご協力願います。

日本全国どこの現場でも 建退共制度 !!

建設事業主のみなさまへ
申込手続きは簡単です！(加入時に経費はかかりません)
経営時効審査で加点されます！
掛金は全額非課税で国が一部を補助します！
建設現場で働くみなさまへ
建退共の手帳を持っていますか？
事業主が変わっても退職金は通算して計算されます！
加入者還元のための宿泊割引・レンタカー割引等の携帯サービス事業も行っています。

詳しいことは、最寄の建退共北海道支部へお問合せ下さい。

〒060-0004
札幌市中央区北4条西3丁目1番
TEL 011-261-6186・FAX 011-251-2305

建退共本部のホームページで退職金の試算ができますので、是非アクセスしてください。
ホームページアドレス
<http://www.kentaikyo.taisyokukinn.go.jp>

事業主のみなさまへ！

「社長さん あなたの義務です 労働保険」

労働保険適用促進月間

10月1日～10月31日

労働保険は政府が管理運営している強制的な保険で、原則労働者を一人でも雇用している場合、事業主は加入手続きをとり、保険料を納めなければなりません。

北海道労働局労働保険適用室
留萌労働基準監督署・留萌公共職業安定所

「職場を支えるあの人の最低賃金だいじょうぶ？」

北海道最低賃金

道内で事業を営む使用者及びその事業場で働くすべての労働者に適用される北海道最低賃金が次のとおり改正されました。

最低賃金額 時間額 638円
効力発行年月日 平成16年10月1日

最低賃金以上の賃金を支払わない場合は、最低賃金法違反として処罰されることがあります。



赤い羽根共同募金

www.akaihane-hokkaido.jp
HPで赤い羽根共同募金の
内容がわかります。



赤い羽根共同募金にご理解・ご協力いただきありがとうございます。皆様からお寄せいただいた寄付金は、民間の社会福祉活動のために役立てられています。

一人暮らしのお年寄りの食事提供やハンディキャップを持つ方々の社会参加支援・療育キャンプ・在宅介護をしている方々への介護技術講習会・ボランティア育成や活動支援など様々な分野で役立てられています。今年も皆様のご協力をお願いいたします。

元気をあげたり、もらったり ささえあつてこそ北海道

全国地域安全運動「みんなでつくろう安心な街」

防犯協会と警察は、自治体や地域の皆さんと連携して、犯罪や事故などによる被害を未然に防止し、安全で安心して暮らせる地域社会をつくるため、全国地域安全運動を実施します。

運動期間 10月11日～10月20日（10日間）

運動期間中、各地域で空き巣ねらい等の進入犯罪やひったくり等の街灯犯罪を未然に防止するための防犯診断や防犯訓練、女性やお年寄り、子どもを守るための防犯講話などが行われます。

苫前町の交通事故情報

平成16年8月末現在

発生件数	死者数	負傷者数
7件	1人	9人

交通事故死ゼロ日数は
8月31日現在で121日

本町の人権擁護委員は、次の方です。
竹橋 隆至(四二二五七)苫前
大矢根正春(五四〇五)古丹別

いじめや虐待、セクハラや家庭内暴力、高齢者や障害者などの人権問題、離婚や扶養、相続金銭トラブルなどによる問題でお悩みの方は、相談してみませんか。相談料は無料。秘密厳守ですので、お気軽にご相談ください。

古丹別地区
とき 午前10時～正午
ところ 苫前町公民館
苫前地区
とき 午後一時～午後三時
ところ 苫前町福祉センター

特設人権心配と相談所

10月22日(金)開設

戸籍の小箱

慎んでお悔み
申し上げます

氏名	年齢	死亡日	住所
福井 伶子(70歳)	8月22日	力昼	
石井ウメノ(87歳)	8月26日	栄浜	
古村 初枝(78歳)	8月29日	長島	
鈴木 芳春(65歳)	9月1日	力昼	
瀬川 敏夫(83歳)	9月13日	苫前	

ご成長を
お祈り申し上げます

氏名	父・母	出生日	住所
村井 孝輔(長男)	浩基/絵理	8月12日	苫前
河端 伶拓(長男)	秀明/恵理子	9月9日	古丹別

未長くお幸せに

氏名(夫)	住所	氏名(妻)	住所
佐藤 隆裕(苫前)	齊藤 明子(留萌市)		
三浦 大輔(古丹別)	田 みち子(古丹別)		

ご厚志に感謝します

各町内会等への寄付	力昼町内会へ	上平町内会へ	長島町内会へ
力昼 福井 実 様	上平 白府 実 様	長島 伊藤 ミヨ子 様	

古丹別保育所幼児の作品

『アロハシャツを着たわたし』
髪の毛の色がきれい
にぬれました。
アロハシャツの色
がきれいにできま
した。



5才
いとうみつひろくん



『おばけのえ』
いろいろなおばけやひとを
かきました。



4才
すずきれんくん



『おさかなさん』
水玉すてきでしょ。



2才
なりた ゆまちゃん



『森の虫さんたち』
折り紙をじょうず
に折れました。
ちょうちょうが
かわいく
かけました。



6才
しばたきなりちゃん



『うみのなかまたち』
うみのなかまたち
をいっぱいかま
しました。



5才
まつたにまなかちゃん



『おさかなさん』
思いつきカラフ
ルにかけたよ。



3才
ごうだ ゆうすけくん



このコーナーは、町内の保
育所（園）や小中学校の園
児や児童生徒の作品を紹介
します。ひとりでも多くの
作品を紹介したいと思っ
ています。
11月号の予定は苫前小学
校の児童のみなさんです。

『アロハシャツを
着たわたし』
髪の毛をじょうずに
切れました。
アロハシャツの色が
じょうずにできま
した。



5才
にわ ゆきなちゃん



『すいか食べた』
すいかがうま
く
かけました。



4才
ねこしま なおちゃん



ちびっこギャラリー

ちびっこギャラリー

ちびっこギャラリー

風力発電の売電状況
(町営分)

16年の実績(1~8月分)

28,795,501円

平成16年8月分の実績

・供給電力量

132,650 kWh

1,664,425円

(設備利用率7.69%)

来春の本格運用を目指す、苫前町商工会では、地域通過の試験運用を始める。町内の約百事業所・団体が参加し、一枚五百円相当分の「紙幣」を発行し、現金との交換によりおおよそ一割のプレミア(割り増し)を見込んでいるとのこと。道内での地域通過の取り組みは、年々増加傾向にあるが、本格稼働しているもの、実験中のもの、構想のみで終わったものを含め四十程度に上り、ある意味「地域通過ブーム」といえる。目的は地域経済の活性化による地域コミュニティの再構築。地域通過での買入物のほか、福祉的労働対価(ボランティア活動など)にも活用されることが多い。何れにしても、地域住民が喜んで参加できる「地域通過」へとなっていくはずだ。

編集雑誌記帳